

薬物依存症がある人への社会福祉士の 支援の向上のための研修



目白大学人間学部人間福祉学科 福島 忍
(社会福祉士会員番号 3130)

本研修では、皆様が仕事を行う中で、薬物依存症（本研修は**違法薬物**を対象）の当事者や家族等からの相談があった時に、円滑に支援につながる行動をとれるようになることを目的に、**薬物依存症という病気になる背景、国の取り組み、自己治療仮説、ハームリダクション、支援者が行っている支援の内容や支援において大切にしていること、支援の難しさ**などについて学び、**薬物依存症のよりよい支援について学び考える場**としての研修を開催いたします。また、**当事者のお話、ダルクの運営者からのダルクや NA（自助グループ）**についてのお話なども研修内容に含んでおります。

また、今後のよりよい研修内容の構築のため、**薬物依存症の方へのスティグマの軽減**にこの研修がどのように効果をもつのか明らかにするための調査も実施いたします。受講にあたっては、下記 URL の説明文書を必ずお読みください。

(https://drive.google.com/file/d/1OwP2bcSa_OgXvLnigoZNOiZ38KLMKFpg/view?usp=sharing)

【研修日時】 2024年7月13日（土）13：00～16：30

【実施方法】 Zoom によるオンライン研修 【定員】 130 名 【受講料】 無料

【研修対象者】（以下のすべての項目に該当する方）

- ① 社会福祉士会会員の方
- ② **複数回のアンケートにすべてお答えいただける方。**（調査は研修前後に複数回行います。1回のアンケートの記入時間は10～15分程度を見込んでいます。すべての回にご協力いただけた方にはAmazonギフト券500円分を贈呈いたします）
- ③ Zoomを使ったオンラインで行いますので、Zoomが使用できる方
- ④ 本研究の説明文書を読み、調査協力に同意いただける方

【研修の実施方法について】

2つの枠組みで研修を行います。1つのグループはメールでお送りする薬物依存症について書かれているテキストを読んでから研修プログラムを受けていただく形、もう1つのグループは研

修プログラムを受けてからメールでお送りするテキストを読んでいただく形で行います。

テキストを読んでから研修プログラムを受けていただくグループは、研修日前に事前にアンケートへの回答をしていただいたのち、テキストを読んでいただいてから、当日の研修を受けていただくことになります。なお、お送りするテキストと、研修プログラムの内容はどちらのグループも同じ内容です。基本的属性と支援経験の有無等のバランスを考慮し、どちらのグループになるかはこちらの方からお知らせいたします。

【当日の研修プログラムの内容】

- ① 講義1：薬物依存症についての国の対策、薬物依存症になる背景及び支援機関、自己治療仮説、ハームリダクション、支援の現状や難しさ、支援で大切にしていることなど（1時間程度）
- ② 講義2：薬物依存症当事者からのお話（計30分程度）
 - 1人目：回復に至るまでの体験談（15分）
 - 2人目：ダルクの施設長によるダルクや自助グループ（NA）についての説明（15分）
- ③ グループワーク（1時間程度）

申し込み方法

2024年6月21日（金）17:00までに、下記のフォームか、QRコードよりお申し込みください。（定員を超えた場合は、地域のバランスなどを考慮して、受講者を決定させていただきます）

< フォーム >

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdvw8-8rNw9ayZcJ4C0475SFIPnAGdlbn7BqVgBhH117t0_ng/viewform?usp=sharing

< QRコード >



本研修に関するお問い合わせ先	目白大学人間学部人間福祉学科 福島 忍 (筑波大学大学院人間総合科学学術院 博士課程3年) (社会福祉士会員番号 3130) E-mail: s.fukushima@mejiro.ac.jp TEL: 03-5996-3164 (学科事務室)
本研究の責任者	筑波大学医学医療系 森田 展彰 E-mail: nobu-mori@umin.ac.jp TEL: 029-853-3099